

## 「障害があっても地域で楽しく生きる会」とは、

「障害があっても地域で楽しく生きる会」は、障害のある人たちが、障害のない人たちと共に暮らすことができる社会を目指して、障害当事者とその家族、関係者たちで 2007 年に結成されました。この会の母体は「障害児を普通学校へ・全国連絡会」ですが、今は独立した別組織として活動しています。厳しい現実と向き合いながら、各地で実践している活動を語り合い、問題を共有し、困難を抱える私たちが互いに支え合うことを目的にして、1 年に 1 回全国集会を開いてきました。分科会はこれまで次の 4 つを設定してきました。

「暮らす」…主に自立生活の問題

「働く」…働きたい人が働く道を開いていくこと、障害者にとって働くとはという問いかけも含めて考える。

「支援のあり方」…公的サービスだけでは対処できない現実を認識し、生活向上を目指す道を探る。

「当事者会」…1 日目は社会見学 1 年ぶりの再会、2 日目は当事者たちで進行、それぞれの生活を紹介。生活上の問題に気づき、自分で自分の生活を決定していく過程とする。今回の熊本集会で 12 回目となります。「地域で共に生きる」を実現するために、皆さんに参加を呼びかけます。

## 卒後を考える全国集会開催にあたり

現地 くまもと実行委員会 委員長 衛藤陽一

みなさまこんにちは。現地くまもと実行委員長の衛藤陽一です。

私は小・中・高校と両親と先生、そして、ともだちの支えで地域の学校へ通うことができました。もちろん、学生時代には障害によるいじめも受けました。小学校では授業の中で、私の障害についてみんなで学ぶ機会をつくってもらい、いじめがなくなっていました。中学校になると、またいじめが始まりました。私が通った中学校は地域の小学校 3 校から子どもたちが集まるため、他の小学校の生徒は、私のこと、障害のことについて知らないこともあり、私に「奇形児」と言っていじめをしてきました。



当時の私は、毎日が嫌で、「奇形児」といじめをする生徒を包丁で刺殺そうとも考えていました。私はいじめられていることを、なかなか先生や両親に話をするできませんでした。しかし、私を助けてくれたのは、小学校からのともだちでした。ともだちが「陽ちゃんが、奇形児とされています。」と先生に言ってくれたのです。小学校時代のともだち、一緒に育ってきたともだちが、どんなにありがたく、どんなに大切な存在かを実感しました。その後、中学校でも私のこと、障害のことを授業で勉強しました。それから、中学校での私へのいじめはなくなりました。中学校 3 年生になると、高校受験があります。私はともだちと同じ高校に行きたくて、一生懸命勉強をがんばりました。そして見事に地域の普通高校に入学することができました。学生時代の私の感想ですが、やっぱり子どもの頃に大切なものは何か、もちろん両親、先生の存在もありますが、一番はともだちだったように思います。学生時代はみんなと違うこと（私の場合は障害）がいじめにつながりました。でも、小さいころから一緒にいることで、私の障害を違いとみるのではなく、衛藤陽一、陽ちゃんとして受け入れてくれたのだと思っています。

僕にとって高校時代が一番楽しかったです。楽しかった高校時代もあっという間で、就職か進学かど進路選択になりました。私は勉強嫌いだったので、就職をすることに決めました。まずは技術を身につけようと、北九州の障害者の職業訓練校に入学しました。卒業後は、地元の熊本で就職活動を開始し試験を受けるものの、なかなか採用までいくことができませんでした。

その後、熊本の授産施設で利用者として働き、現在のくまもと障害者労働センターへと転職しました。この間、雇用関係のない働き方（福祉的就労、月に 1～2 万円程の給料）と雇用関係のある働き方と両方を経験しました。また、数年前には、夢でもあった愛する人と結婚することもできました。私の次の夢は、2 人の間に子どもがほしいと思っています。学生時代も本当にいろいろなことがありました。しかし、学校を卒業した後が長く、今でもいろいろな課題がたくさん山積みです。きっと卒業後のことは皆さんも一番の心配だと思えます。皆さんと一緒に、学び、一つずつ課題を解決していきたいと思っています。ぜひ、熊本でお会いしましょう。待っています。

11月17日 土

- 12:00 受付開始
- 13:00 開会行事（挨拶・基調報告）
- 13:45 全体会公演  
お笑いライブ＆トーク  
おれプロ公演  
「私もいつか、赤ちゃんを産みたい(仮)」
- 15:00 分科会  
第1分科会「暮らす」  
第2分科会「働く」  
第3分科会「親離れ、子離れ」  
第4分科会「当事者会」熊本城へバスツアー予定（定員：23名 参加費：500円）
- 18:00 夕食交流会（学園大学 学生食堂）  
♪各地域の取り組み紹介を兼ねた出し物の交流を行います。みんなで楽しみましょう。
- 20:00 終了

♪お笑いライブ＆トーク  
あそどっく・植田洋平（うえ向きよこ向き）



公演の一コマ みんなで頑張るぞー

♪おれプロ公演

～私もいつか、赤ちゃんを産みたい(仮)～  
おれんじ村は、障害があってもなくても共に働き、共に生きる社会を目指し活動をしています。私達の考える『共に働く』は、障害のあるなしにかかわらず仕事の内容やセンターのことを、何でもみんなで話し合い決めていくことです。月に 2 回の全体ミーティングを劇にしています。小学校・中学校・集会などあらゆる所に公演に行っておりまして、皆様おれプロを宜しくお願い致します。くまもと「show」障害者労働センター「おれプロ」

11月18日 日

- 9:00 分科会  
第1分科会「暮らす」  
第2分科会「働く」  
第3分科会「支援者の立ち位置」  
第4分科会「当事者会」グループワーク  
※1日目と分科会の内容が変わります。ご確認ください。
- 11:30 分科会終了
- 11:45 閉会行事  
分科会報告  
大会総括  
次回開催地挨拶  
大会アピール
- 12:15 閉会



★参加費★

※両日：2,500円 1日参加：1,500円 小中学生：無料

※障害者の介助者：無料

※夕食交流会参加費 5,000円（高校生以下半額）